

5

第5章

実現に向けて

市内・関係事業者の分野横断的な観光推進体制の構築

本計画に位置付けた事業については、市関係各課、観光関連事業者、関係団体、市民がそれぞれの役割のもと、相互に連携しながら推進していきます。

市内においては、本市観光の進行役として観光課が中心となり、各行政分野を横断的につなぐ役割を果たします。関係部署の連携や参画を促すことで、観光行政として総合的かつ一体的な推進体制を構築します。

また、関係機関との定期的な情報共有や意見交換を通じて、事業の進捗管理や効果検証を適切に行うとともに、社会情勢や観光のニーズの変化を踏まえ、必要に応じて施策の見直しや改善を図ります。こうした取組により、持続可能で魅力ある観光地づくりを着実に進めていきます。

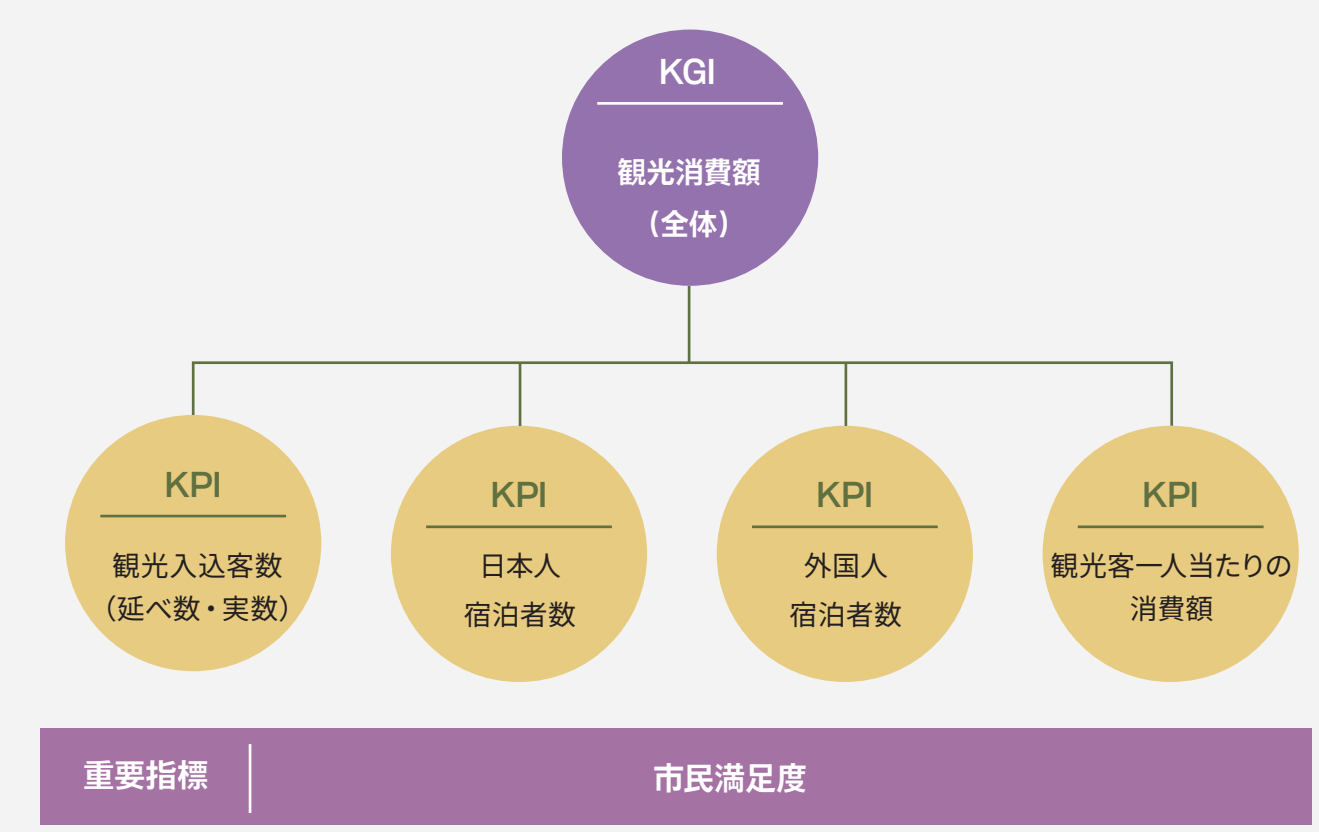
◆各主体に期待される役割

主体	期待される主な役割
甲府市	◇本市の観光を取り巻く多様な関係者の連携を促進する中心的な役割を担い、受入環境の整備や誘客促進事業等の実施、民間事業者への支援、またそれらに係る予算の確保等を行う。 ◇個々の事業者だけでは対応が難しい広域的な情報発信や新たな市場の開拓に向けた取組を推進する。 ◇危機管理や安全対策に関する体制を整備し、安心して訪れることができる観光地づくりを進める。
観光協会	◇観光客受入れの窓口として、誘客や情報発信の中核的な役割を担う。 ◇イベントの企画・運営や商品の造成、事業者間の連携促進など、現場に近い実践的な取組を主体的に担う。
地域 DMO	◇エリアの戦略的事業の展開を進めるとともに、地域の観光データの収集及びその分析を行い、甲府市の観光振興に資する事業戦略の実現を支える。
観光関連事業者	◇宿泊、飲食、体験、交通などの分野において、観光の現場を支え、質の高いサービス提供と魅力づくりを担う。
各種団体	◇商工業や農業関係団体、教育機関などが、各々の立場から観光と連携し、取組の裾野拡大や持続性の確保を支える。
市民	◇地域活動や日常生活における来訪者の受け入れ、地域文化の継承などを通じて観光に関わり、温かなおもてなしの基盤を形成する。 ◇SNS 等を活用した情報発信により、甲府の魅力を市内外に発信する。
県央ネットやまなし	◇構成市町が有する多様な観光資源や交通網を活用して、単独の市町では生み出しにくい広域周遊ルート形成や情報発信を通じ、来訪者の圏域内の周遊促進と滞在時間の延伸を図る。

第4次甲府市観光振興基本計画における数値目標

本市ならではの地域資源を観光の力として活かし、「観光による地域経済の活性化」と「市民の誇りと満足度の向上」を両立させる持続可能な観光振興を進め、本市の目指すべき観光地像を実現するため数値目標を設定します。

本計画におけるKGI（重要目標達成指標）及びKPI（重要業績評価指標）、重要指標については、新たな調査によるデータの収集が必要であることに加え、令和8年度を初年度とする「第5次観光立国推進基本計画」と整合の取れた数値とする必要があります。このため、令和8年度を数値目標設定に向けた準備期間と位置付け、数値目標は令和9年度に設定します。



◆重要指標：「市民満足度」設定の理由

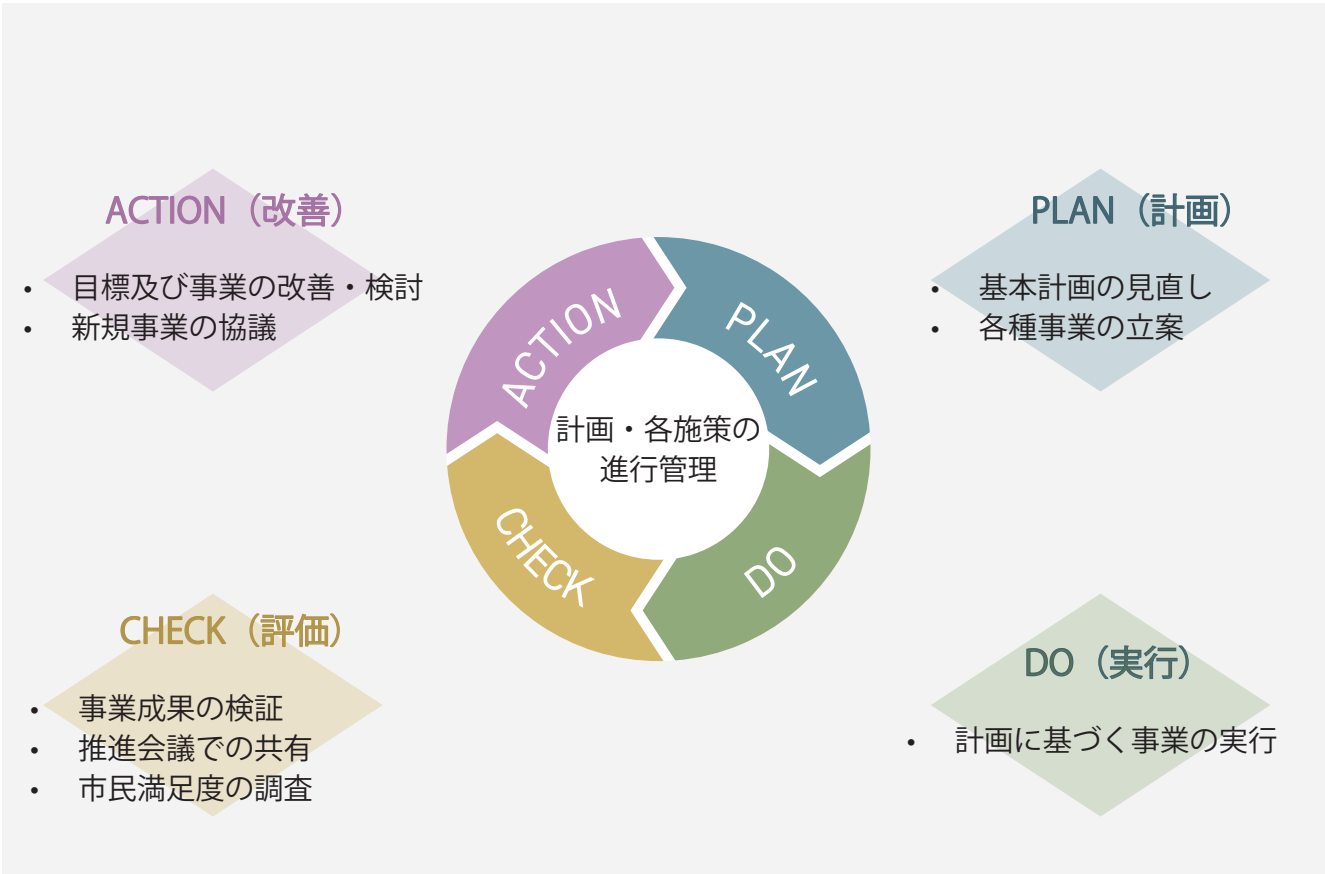
観光は経済効果だけを目的とするものではなく、市民が地域の魅力に気付き、誇りと愛着が育まれ、観光客をおもてなしの心で迎え入れる「好循環」を生み出すものです。

こうした市民の誇り・愛着の高まりこそが観光の持続的発展を支える基盤と考えることから、市民の満足度を重要指標として位置付けます。

(1) PDCAサイクルによる進行管理

本計画の進行にあたっては、最重点事業をはじめとする各事業の実施状況や評価を、有識者や観光関連事業者で構成する「甲府市観光振興基本計画推進会議」（以下、推進会議）において、PDCAサイクルに基づき事業の進捗や改善点等の評価・検証を定期的に行います。

なお、計画に位置付けた各事業については、観光動向や社会情勢の変化などに応じて適宜見直しを図ります。



(2) 推進会議

推進会議のメンバーは、学識経験者、山梨県、観光関連団体、交通事業者、商工会議所等で構成しており、本市の観光行政の方向性や施策の妥当性について多角的な視点から意見をいただきながら、計画の着実な推進を図ることを目的としています。

「第 4 次 甲府市観光振興基本計画」

発行日	令和 8 年（2026）年 3 月
発行	甲府市
編集	甲府市 産業部 商工観光室 観光課
住所	〒400-8585 山梨県甲府市丸の内 1 丁目 18 番 1 号
電話番号	055-237-1161（代表）